

# 魅力ある地域づくり推進

いわき

## 清水市長にインタビュー



進む沿岸部の復旧現場。終日、重機類がうなりを上げている

「当時はすべてが混乱していました。ですから、自分でもすぐに出来ること、地元の間と一緒に、連日、ボランティアに徹しました」

四年前の3・11直後を真摯（しんしん）に語る、清水敏男いわき市長（五一）、二〇一三年秋の市長選出馬については「宿命」と、強調。就任して以来、この春、二度目の新年度予算を組み、「魅力あふれる地域づくりに努めたい」として陣頭指揮を執っている同市長に、復興に伴う現況、目指すいわきの都市像などについてインタビューした。

# だった！

# “宿命” 市長選



震災の復旧における現況や市の方針などについて語る清水市長

——四年前の「あの日の一日」は

清水 ちょうど県議会が開会中でしたので、福島にいました。閉会后、いわきに戻る途中、車の中で震災に「遭遇」しました。（車の）テレビが、東日本大震災を何度も繰り返し…。そんな状況でしたので、いわきへ戻るまで実に、六時間もかかってしまいました。

## ハード面は安定度増す

### 賠償金打ち切りに延長要請

——被害状況や原発事故などの詳細情報は

清水 ほとんど不明でした。ですから「いわきはどうなっているか？」など、不安にかられていました。

——地元に戻った後は

清水 市内はどこも大混乱の状態。当時、私は一県議でしたので、正直、何をしていたかわかりませんでした。ですが、出来ることをやらなければと思います、青年会議所時代の仲間たちと連絡し合い、「食」のための温かなうどんを用意して。近くの給食センターから食器を借りては、地区の皆さんに配ったりしていましたね。甘酒なども仲間たちと提供したり。毎日毎日、一ボランティアに徹していました。

——ハード面は順調のようですが、ソフト面については

清水 市民の皆さんの話がよくよく聞き、寄り添うことが大事と思っています。地域に明るさを取り戻すため、文化、芸術などの復興、そして各種のイベントなども行い、いわきからの発信力を高めていきたいと考えています。

——東電では、商工業者などへの営業損害賠償を来年二月で打ち切りの素案を打ち出していますが

清水 どこもあれだけ大きな被害を受けたため、売り上げが下がり、その分、賠償金でやりくりしている業者の皆さんは多い。市内にたくさん、

## 心の復興に尽力する

### 避難者とは共存・共栄を

ビジョンに掲げる復興期の最終年。各種の事業を確実に推進しつつ、「ふるさといわきの力強い復興と再生の実現」に全力で取り組みます。と、同時に、芸術、スポーツなど

を通じ、市民の皆さんの「心の復興」にも努めていきたいと思っています。

——事故を起こした第一原発の廃炉、汚染土処理に伴う中間貯蔵施設問題などについて

清水 国、東電に対して第二原発の廃炉方針の決定はもとより、第一原発においては慎重かつ確実な廃炉・汚染対策を実施すること。市民への説明責任を果たすようなど、あらゆる機会をとらえて申し入れていきます。

——最後にありますが、いわき市の将来への「新都市ビジョン」（地方再生への取り組み）は

清水 国の「まち・ひと・しごと再生法」では、市町村でも総合戦略の策定が義務付けられています。市としては具体的なプロジェクトの立案・調整のため、この四月一日に、行政経営部内に「地方創生課」を新設しました。

今後はこの課を中心に、全庁一丸となって取り組むことになり。魅力あふれる地域づくりを推進し、「元気ないわき市」の創造を目指していきたいと考えています。



漁業関係者からの話に耳を傾ける清水市長と安倍総理大臣（中央）ら＝いわき・ら・ら・ミュウ（昨年3月）

ありますよ。このため、県や商工団体などは延長など要望を申し入れていますが、市としても単独で国や東電に延長を要請しました。この二月に、東電の本社、国に出向き、訴えてきました。

——今春、二度目の新年度予算を組まれました。その中で、基本的な市の方針は

清水 二十七年度は市復興

**いわき市の被害関連**

4年前の東日本大震災によって、いわき市内では、沿岸部を中心に大きな被害を受けた。

市の災害対策本部によると、今年の2月末現在、人的被害は死亡犠牲者が460人。内訳は、直接死が293人、関連死が130人、死亡認定を受けた行方不明者が37人だった。建物の被害は、計90,542棟。このうち、全壊が7,917棟、大規模半壊が7,280棟など。

被災者の一部は、公営住宅への入居を済ませているものの、まだ民間借り上げ、雇用促進団地など、賃貸住宅で生活を強いられている人も多く、1,535世帯・4,113人の上っている。また、いわき市民で、住民票を異動しないで市外に避難している人は1,522人、住民票を異動して市外へ避難している人は2,631人。

双葉郡8町村などからいわき市内に避難している人は、24,150人。